



「星槎」の名の由来から思えば、仲間と一緒にの舟に乗って、共生さらには平和の星を目指すということは、世界中の人々を対象とし、人々の希望を表しています。

私たちが忘れてはならないのが、戦後の日本の復興そして発展は、日本人だけの力で成し得たものではなく、世界中のたくさんの国々からの理解と応援と協力があって、初めて成し得たものであるということです。私たちは助けられ、支えられたのです。ならば今、私たちが必要としている国や人々に手を差し伸べ、平和や命の尊さを共有共感することは、あたりまえのことであり、お互い様なのです。中でも未来を担うこどもたちを支えることは、その国だけでなく、世界の未来を支えることとなります。

### 「すべてはこどもたちのために」

その想いを世界に届けるために、40年以上にわたり、教育・医療・福祉・環境・気象・宇宙そして文化・スポーツなど、さまざまな分野を通じた学びの環境作りと人材育成に力を注いできました。例えば、青少年の健康・教育環境改善という点に目を向けると、特に困難な環境に生きるアジア・アフリカ・南米地域の青少年への支援活動のひとつに、これまで出場する機会に恵まれなかった国々における、選手・コーチの強化育成や、民間初といわれた事前キャンプの誘致など、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みがあります。但し、この取り組みの目的とするところは、単なるオリンピック出場やエリート選手の育成ではなく、学んだ選手・コーチが、母国やさらに必要とする人々のために貢献し、こどもたちをはじめ、さらに多くの人々の夢や希望につながることにあります。即ち、スポーツを通して学び、社会に還元することが目的であり、オリンピックという貴重なきっかけを通して皆が関わり合い、共感し合いながら、共生そして平和を見据えた、世界をめぐる循環型の継続支援について、考え、実践していくことが重要なのです。

こうしたスポーツを通じた学びについては、星槎のこどもたちについても同様であり、北海道から沖縄まで、その校舎の特色を活かして、さまざまな種目から100人を超えるこどもたちが全国大会に出場するなど活躍を見せる中、「する・見る・支える」それぞれの立場から共感し、理解し合い、関わり合う力が深まることを目的として活動しています。

また、世界との交流により、例えば「SEISA Africa Asia Bridge (SAAB)」のように、全国の星槎の生徒・学生あるいは地域のこどもたちがアフリカやアジアなどの多くの国々について学び、人々と実際に交流し、共感し合い、仲間を作る機会へとつながっています。そして、アフリカからはエリトリア国の高校生、アジアからはブータン王国の高校生が留学し、星槎の仲間になります。

人と人、人と自然が共生する社会の創造。そしてそれを担うこどもたちが必要とすることや興味関心に応じて、さまざまに広がる星槎の取り組みや学びの環境のさらなる充実のために、何卒、多くの皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### <SEISA Group>

- 学校法人国際学園 ピーターパン幼稚園 青葉台幼稚園 星槎中学高等学校 星槎名古屋中学校  
星槎もみじ中学校 星槎国際高等学校 横浜国際福祉専門学校 星槎大学 日本教育大学院大学
- 学校法人北海道星槎学園 道都大学 ■神奈川県青年海外協力隊支援協会
- 公益財団法人世界こども財団 ■星槎学園 中等部 高等部 (北斗・湘南・横浜・トイト・大宮)
- 社会福祉法人星槎 野川南台保育園 青葉台保育園 ティック上野川保育園 ティック瀬谷保育園 ティックくぬぎ坂保育園
- スペースウェザー協会 ■星槎教育研究所 ■創作和太鼓集団打鼓音 ■劇団新制作座 ほか

2016 (平成 28) 年

星槎 創設者 宮澤保夫

